

第5回テーマ別検討会議

平成30年1月28日

本日のプログラム

1. はじめに 【20分】
2. グループ分け 【10分】
3. ワークショップ 【80分】
4. 全体討議 【35分】
5. ふりかえり 【5分】

おさらい

総合計画（愛称：ながくて未来図）とは、

長久手市が目指す10年後の姿や

そのための取組を示す

「まちづくりの指針」となる

大切な計画です。

総合計画は、一般的に三層構造をなす

- ・ 目指すまちの姿（＝大まかな方向性）を示したもののまち全体の**将来像**
カテゴリーごとの具体的な目指すまちの姿「**基本目標**」

概ね10年

基本
構想

概ね10年

基本計画

- ・ 基本構想実現のための**手段（取組）**
をまとめたもの。

概ね
3年

実施計画

- ・ 基本計画で定められた手段（取組）が現実の行財政の中で実施していくかまとめたもの

3つのSTEPを踏んできました



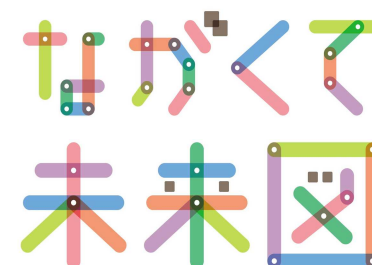
STEP1 準備期

① 総合計画基礎調査

⇒人口推計、市民意識調査等

② 総合計画愛称総選挙

⇒「ながくて未来図」に決定！



STEP2 「みんなの思い集」作成期

①キックオフパーティ

②知って、話して、考える

ThinkNagakuteキャラバン

③小中学生からの意見

④団体ヒアリング

↓
みんなの意見を集め、整理して…

↓
みんなの思い集を作成しました！

みんなの想い集とは・・・

次期総合計画（愛称：ながくて未来図）の策定にあたり、様々なカタチで、関わっていただいた**延べ3,474人の“想い”をまとめた資料**

大切にしたい5つの視点

どのカテゴリーの取組を進める上でも重要となる視点

笑顔

あいさつ

役割

つながり

愛着

6つのカテゴリー

それぞれのカテゴリーごとに、具体的な目指すまちの姿となる基本目標を設定します

人づくり

子ども

自然環境

生活

交流

都市整備

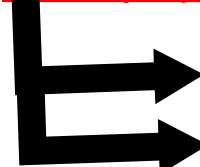
みんなの想い集から、

「大切にしたい5つのモノ」「6つのカテゴリー」を導きました。

STEP3 理想の未来描き期

『みんなの思い集』を踏まえ、
テーマ別検討会議①～③で

基本構想をつくる



まち全体の**将来像**

カテゴリーごとの具体的な
目指すまちの姿「**基本目標**」

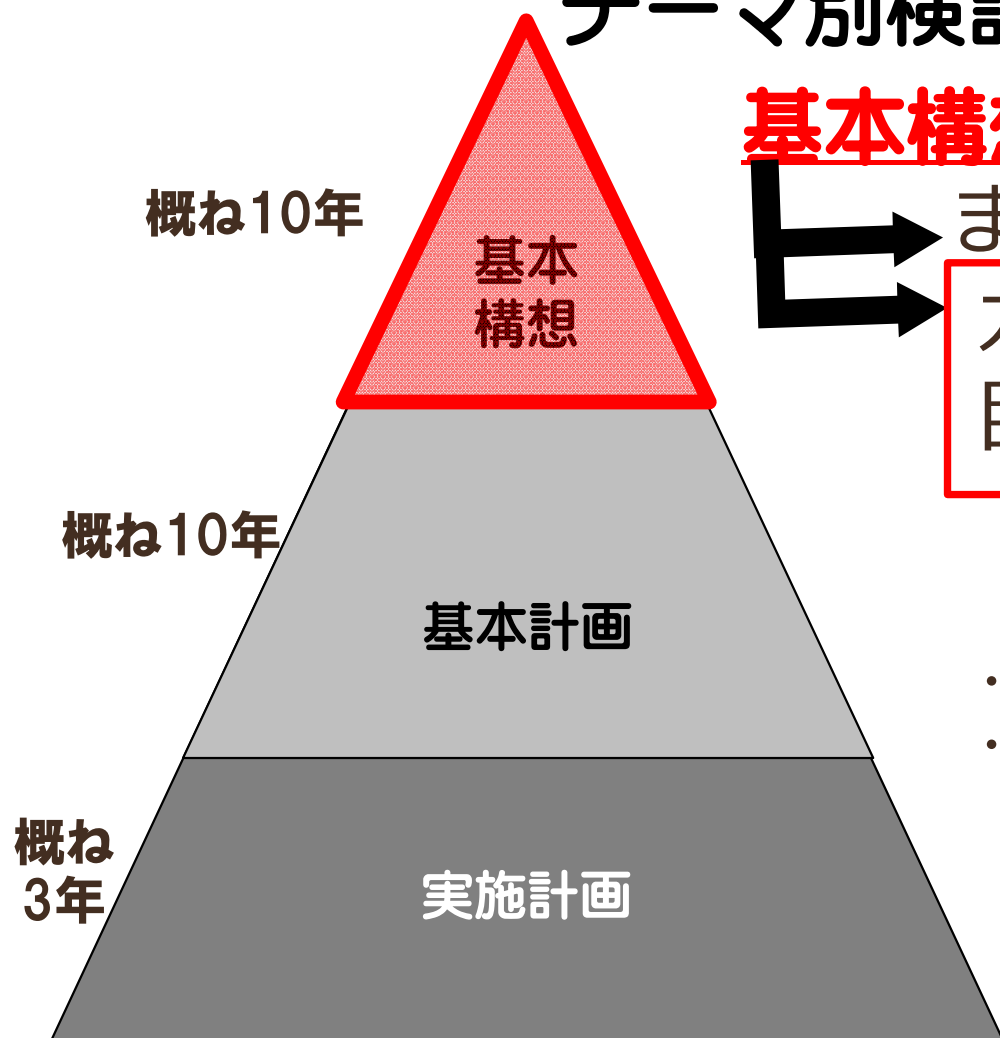


- ・ 多くの方に楽しみながら考えてもらいたい
- ・ できた基本構想に興味を持ってもらいたい

⇒カテゴリーごとの

2028年の理想の姿を

「**物語**」として描く！



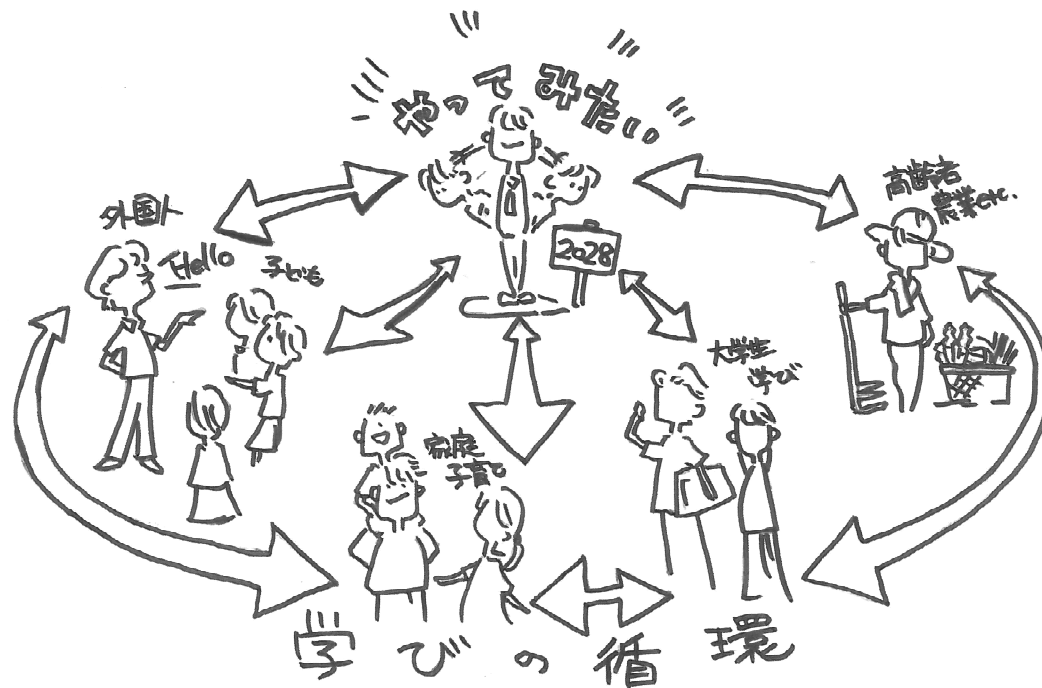
総合計画 (ながくて未来図) 基本構想

ながくて未来の物語

人づくり 編



「やってみたい」でつながるまち



人づくり編 「やってみたい」でつながるまち

2028年。長久手に生まれ、長久手に育ち約21年が経った。長久手も随分発展したけど、私も長久手に随分「育ててもらった」感じがする。

小さいときから自分が住む「まち」に触れる機会は多かった。学校でも「まち」について学ぶことがあったし、「地域コミュニティ」という言葉は当時知らなかったけど、「自分たちの住むまちを、自分たちで良くしていこう」という意識を、なんとなく周りの大人達から感じていた。

その影響もあってか、長久手には愛着があり、卒業後の「生き方」についても、ふるさと長久手のことを意識せざるを得ない。

私たちが生きる時代は、「人生100年時代」と言われているが、ここ長久手では、“働き直し・学び直し”ができる環境があり、いつでも、誰でも「やってみたい」が叶う仕組みが整っている。私の大学の先輩で、一度就職で長久手を出てから、また長久手で働き直している人がいるし、一度退職した女性が働き直すこともよくあると聞く。長久手でそのようなことが起こる理由の一つは、“働き直し・学び直し”の拠点があるからだ。地域共生ステーションや私が通う大学などの市内の学び舎が拠点となり、ここに、高齢者や障がいのある方、子ども、大学生、会社員、子育て中の夫婦、起業家、外国の人など、多様な人達が集まる場になっている。そこで、お互いの知っていることや得意なことを引き出し合いながら、時には教え、時には教えられる「学びの循環」が起きており、人が育ち、つながりも生まれ、コミュニティも育っている。

卒業後も愛着ある長久手に暮らし、「やってみたい」ことにチャレンジし、楽しみながら育っていこう。そして、今度は、私も、誰かを、長久手を育てていこう。

総合計画 (ながくて未来図) 基本構想

ながくて未来の物語

子ども 編



子どもが感性豊かに生きられるまち



子ども編 子どもが感性豊かに生きられるまち

2028年。2歳と4歳と7歳。3人の子ども達と毎日楽しく暮らせている。

運動が得意な子、苦手な子、お話しするのが好きな子、苦手な子、本が読むのが好きな子、苦手な子、障がいがある子、ない子、それぞれが子ども達の大切な「個性」として受け入れられ、長久手の子ども達は、よく遊び、よく泣き、よく悩み、よく笑い、感性豊かに育つと友達から聞き、結婚を機に、隣町から長久手に引っ越してきたけど、その噂は本当だったみたい。

転出入の多いまちのせいが入ってくる人に対して地域の人が気にかけてくれるし、地域の行事に参加しているうちに、関係性が築けてきて、子育てを通じて自由な交流やつながりが生まれた。最初は、自分の子どもを人に預けることに抵抗があった私も、いざというときに、お互いに頼れるネットワークができた。地域の人と関わることに消極的だった夫も、気付けばパパ友ができ、情報交換や一緒に地域活動もしているみたい。

働きながらの子育ては不安だったけど、家族の理解や支え合い、産み育てる環境の整備、困った時にふらっと気軽に相談しにいける場があり人がいるおかげで、何かあったときの心のよりどころになっているなあ。

親も地域の方もみんなが子どもたちをあたたく見守り受け入れてくれていて「まち全体で子育てをしている」ような、そんな雰囲気があるから、きっと子ども達は自然の中で、まちの中で、のびのびとありのままに生きられ、感性が育っているんだと思う。そして、そんなまちで暮らす大人達も、のびのびいきいきと暮らしていると感じる。

「このまちで育った子どもたちはどんな大人になるのかな？」思わずそう考えてしまう大人は私だけでないはず。そんなまちってやっぱり素敵。

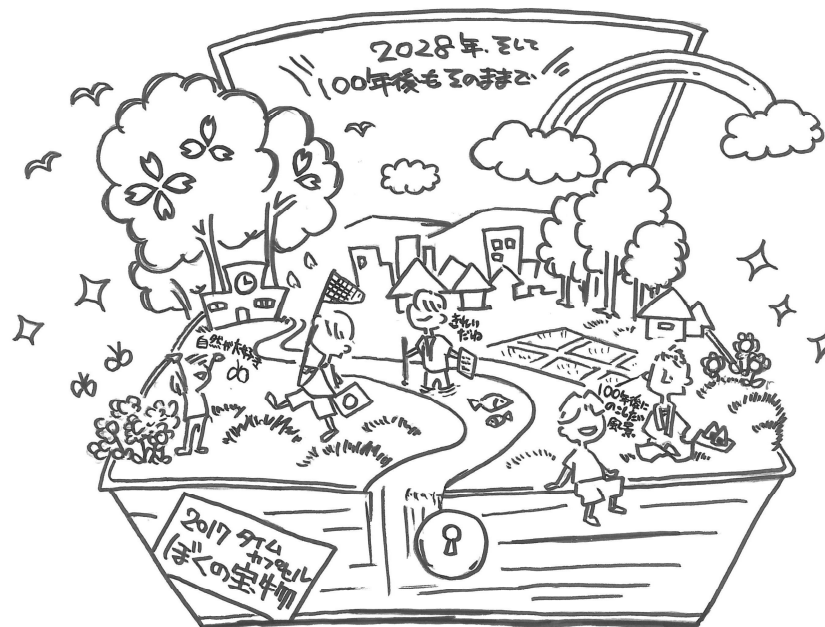
総合計画 (ながくて未来図) 基本構想

ながくて未来の物語

自然環境 編



みんなでみらいへつなぐ
みどりはまちの宝物



2028年。長久手に暮らして40年。私が生まれ育った長久手は今でも豊かな自然に恵まれている。自宅があるまちの西の方の都市部には、公園や街路樹など至るところに“みどり”があり季節を感じられる。まちの東の方では、田畑や里山があり、自然の雑木林の中では子どもたちが駆け回り、同じ市内にいながら自然を存分に感じられる。

私も参加しているが、香流川では、地域で清掃活動が行われとてもきれいだ。みんなこの川を愛し、カワセミが住みついていて、いろいろな生き物からも愛されている。中には田畑や自然を荒らしてしまう動物もいるけど、地域や行政で協力して対策をしながら、いろんな生き物と共存している。

小さい頃は気付かなかったけど、こうして今でも、子ども達が雑木林を駆け回れたり、田んぼも里山も香流川も、美しく保たれているのは、その時代時代に、この自然を愛し守る人たちがいて、それを受け継ぐ人がいるからなんだ。休耕田になっていたようなところも、「みんなで受け継ぐ」という意識から、地域で協力して管理したり、若い後継者につないだりができてきているように感じる。

私も、このまちの宝物である美しい自然を守り、また次世代につないでいきたいと思っている。

今ある自然をほったらかしにするのではなく、「まちの宝物」として、人の手を入れながら、みんなで未来へ残していくという意識こそ、まちの宝物なのかもしれない。

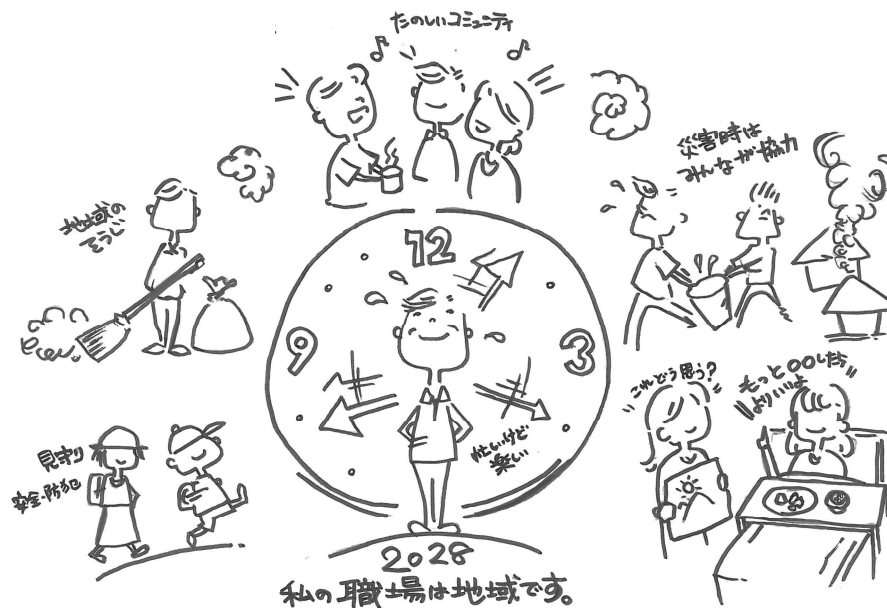
総合計画 (ながくて未来図) 基本構想

ながくて未来の物語

生活 編



みんながつながり、
誰もがいきいきと安心して暮らせるまち



生活編 みんながつながり、誰もがいきいきと安心して暮らせるまち

2028年。退職してから、もう5年になるかな。もしかしたら、仕事をしていたときより、働いているかもしれない。今の職場は、「地域」だけど(笑)

働いているときは、家と職場の往復だけだった。たまたま自治会長になったのをきっかけに、いざ退職して地域デビューしてみると、地域には、実にさまざまな「役割」があるもんだ。なかなか地域に出られなかった自分が、今では、いろんな人の「地域デビュー」のきっかけづくりの「役割」を担ってるなんてことを10年前の自分に言っても、きっと信じてもらえないだろうなあ(笑)

「役割」で言うと、長久手市では、生活する上で、誰かが困っていることを、家族でできることは家族で、地域でできることは地域で、行政がやらねばならないことは行政で、とうまく役割分担をしながら、解決できていると感じる。

「地域のみんなのできることはみんなでやろうよ」という意識が根付いているからか、世代や住んでいる年数も関係なく、地域のつながりも強く、まちでよくみかけるのは、ご近所さん同士のあいさつやおしゃべりだ。

日頃から声をかけあっているからこそ、犯罪からみんなの生活を守れていて、災害の際は、当たり前前に助け合う。ご近所さん同士のおしゃべりは、情報交換にもなっていて、一人暮らしの高齢の方や、体が不自由な人などで、最近見かけない人がいれば、様子を見にいたり、行政と連携して支援も行っている。

高齢化は進んでいるが、支援も充実しているし、何より地域に「役割」があるからおちおち家で寝とられん。だけど、おかげでわしも友達もいつまでも元気でいきいきしとる。「安心して暮らせるまち」に地域のつながりや役割が必要なんだな。

総合計画 (ながくて未来図) 基本構想

ながくて未来の物語

交流 編



いつでもどこでもだれとでも
広がる幸せの和



交流編 いつでもどこでもだれとでも 広がる幸せの和

2028年。「やぁ、おはよう！」私が登校するときは、いつもいろんな人が声をかけてくれる。

小さいときから、さくらまつりや夏まつり、伝統的な警固祭り等、いろんなイベントに参加する機会があったので、仲の良い大人の人もたくさんいる！会うと長久手の文化とか歴史の話とかをしてしてくれるんだ。おかげで顔見知りの人も増えてきていて、みんな気軽に声をかけてくれる。

今は中学生になって、友達同士や家族で、文化の家や図書館や古戦場公園等によく行くよ！この前は、友達と文化の家のワークショップに参加したり、古戦場公園で昔のことを勉強したり、家族で警固祭りを見に行ったりしたよ。楽しいイベントや場所がたくさんあるから、「今日はどこに参加しようかな」「だれを誘おうかな」って迷ってしまうほど。

長久手市でやっているイベントやまちのオススメ情報なんかもホームページとかでたくさん発信されていて、長久手市に住んでいる人も住んでいない人もそれを見て情報を集めているみたい。実際に行った人がSNSで発信してたりして、長久手市の魅力がどんどん広がっていて、長久手に住んでいない人も住んでいる人もみんな楽しく交流できている気がする！長久手のことを知れば知るほど好きになるし、私ももっとたくさんの人に長久手のことを教えてあげたい！

中学からは部活を始めたから、運動もたくさんするんだけど、小さい子からおじいちゃんまでみんないろんなところで運動してるから私もやる気がする！

こうやって、気が向いたらいつでも、どこに行ったら、そこにいるだれかと、遊んだり運動したり、交流しながら暮らせて幸せ！

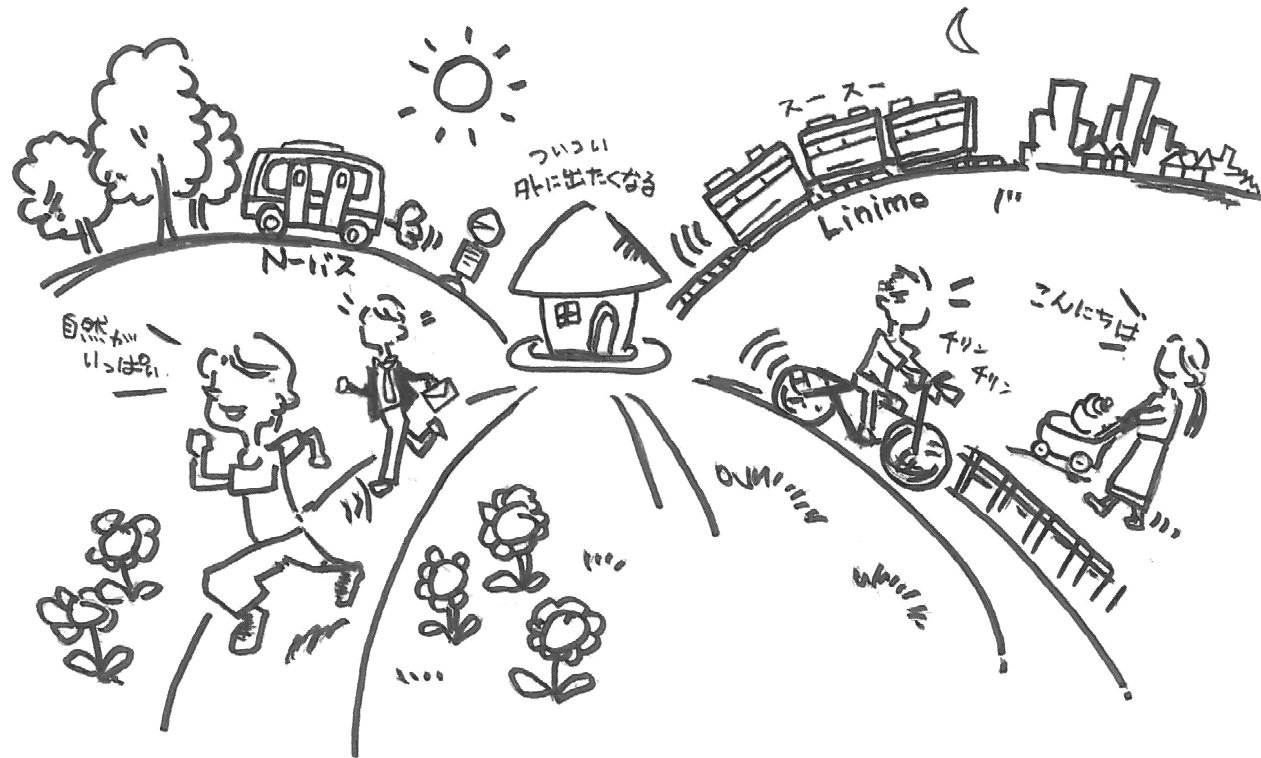
総合計画 (ながくて未来図) 基本構想

ながくて未来の物語

都市整備 編



あえて、歩いてみたくなるまち



都市整備編 あえて、歩いてみたくなるまち

2028年。私もじいさんも、ちょっと運転に自信がなくなって、運転免許を返納してしまったんだけど、それでも長久手は住みよいまちだよ。

リコモやN-バスなどの公共交通やそれ以外の移動手段も整備されていて移動しやすいから、買い物や通院には困らないし、公共施設にもストレスなくいけてとても便利。大きな荷物を運ぶ時とかには、いつも気にしてくれているご近所さんが出かけるついでに車で送ってくれたりして助け合っている。

便利であると同時に、長久手では、自然も大切にされていて、住宅地といいバランスで共存している。市内の住宅地には、庭の手入れをする方が増えて、あちこちで会話の花が咲いているなあ。まちの至る所に緑があるし、ちょっと歩けば道に花が咲いていたり、遊歩道もある。自然を感じながらまちを歩くのは楽しいし、健康にも良い。隣のお父さんも週末になるとお子さんと一緒に自転車で出かけていて楽しそう。私の友人は車に乗っているけど、整備された公共交通や「自分で行けるところは歩いたり自転車に乗ったりして自分で行く」という意識が根付いているからか、何年か前に比べて渋滞も少なくなって快適だし安心！って言ってたな。

このまちは誰にとっても、「安心して」、かつ「楽しく」外に出るための整備が進んでいる。

楽しいことがあると思うと、ついつい外に出かけたくなる。そういった人が多いから、このまちは賑やかで、活気づいているのね！

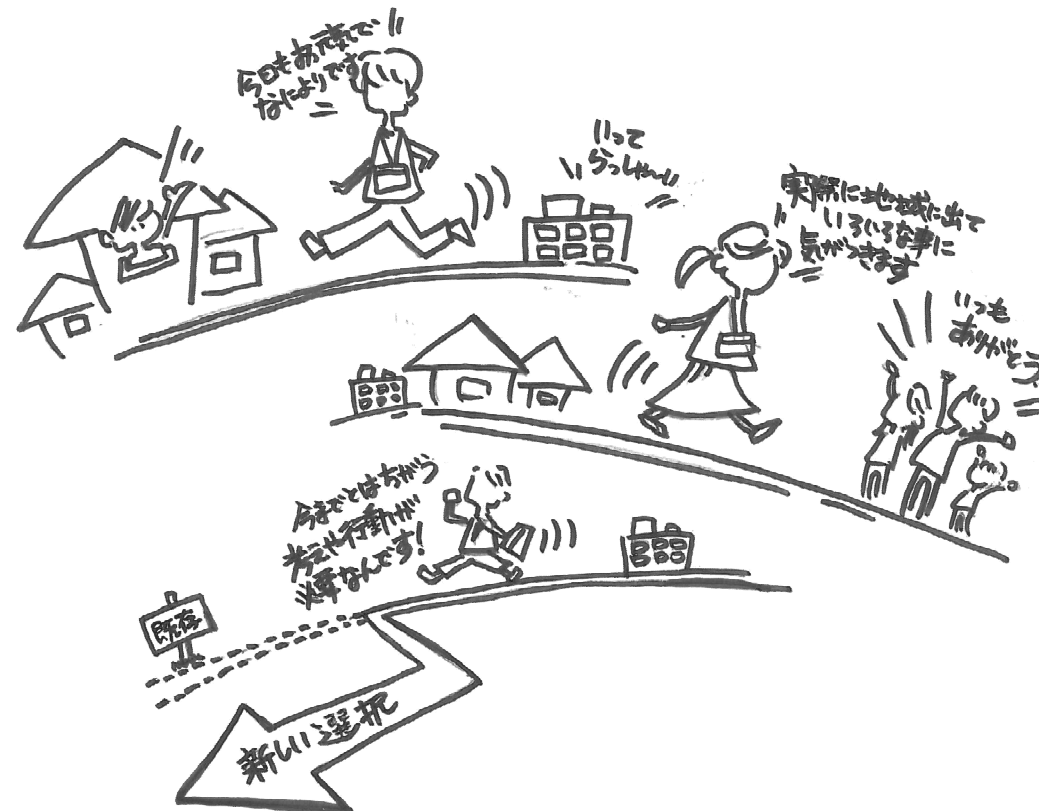
総合計画 (ながくて未来図) 基本構想

ながくて未来の物語

市政運営 編



職員が飛び出すまち



2028年。今、私の勤める長久手市役所では、「まち全体が職場だ！」という意識が職員に根付いている。このまちは、いろいろな課の職員がまちに飛び出したり、既存の枠から飛び出したような施策に取り組んでいることから、「職員が飛び出すまち」と言われている。

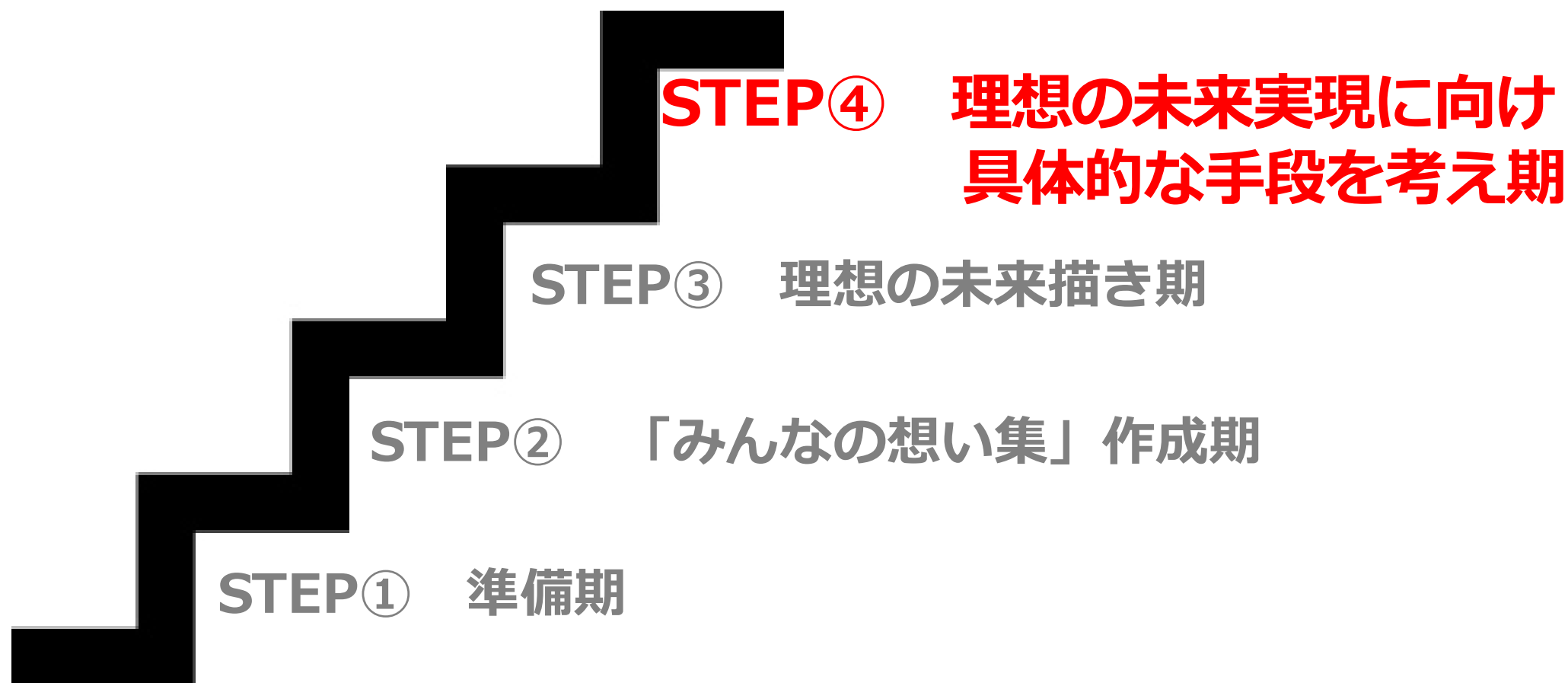
いろいろな課の職員が、時間をつくって、意識的にまちに出てみたり、公共施設を回ったりしている。「○○さん！」と、まちで呼び止められることが多くなったね、よく同僚とも話している。逆に、たいした用事がなくても、市民の方が市役所に気軽に訪ねてくれるようになり、市民と「顔の見える関係性」が築けてきている。「課題は、現場にある」とよく言われるけど、こうしてまちに出たり、市民の方と話をする中で、課題も、その解決の糸口も見つかるのだなぁ、とまちに飛び出すようになってようやく気がついた。

また、真の問題解決には、従来のやり方や既存の枠にとらわれていたり、一つの課だけで対応しようとするとうまく行かないことが多いということも、まちに出て対話して市民と向き合うことで分かってきたことだ。既存の枠を飛び出し、自分の課を飛び出し、他課やそして他市町とも連携することの必要性にも気づけた。

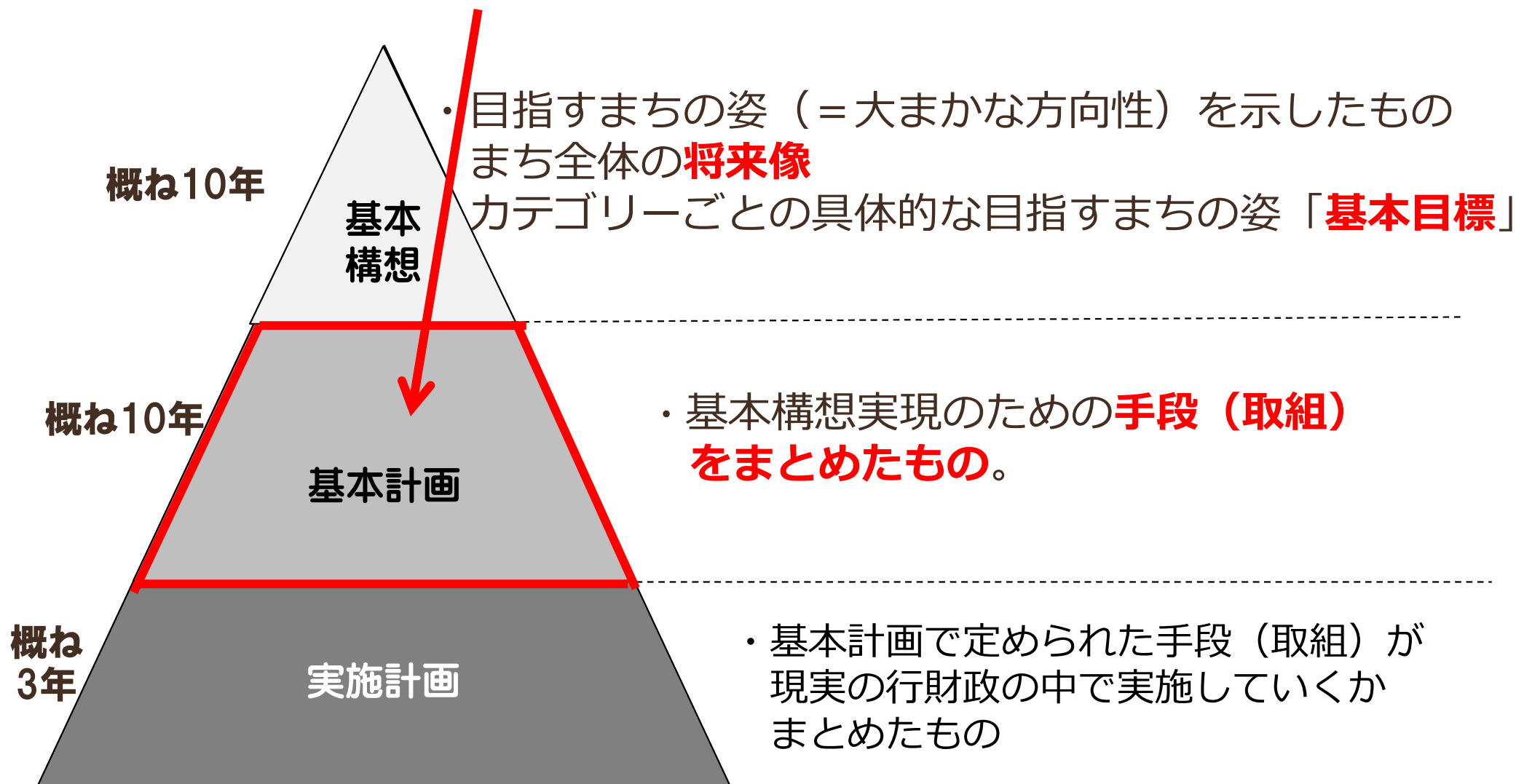
いろんな事に気付き、実践し、うまくいかないことに悩み、考え、そんな日々を過ごすうちに、どんどん長久手が好きになってきている。好きだからこそ、もっといいまちにするためにはどうすればよいか？を考え、積極的に業務を見直し改善に努めたり、もっといい職員になりたいと研修にも視察にも積極的に行くようになった。

「元気な職員がいるまちは元気になる！」そう信じて、今日も飛び出そう！

4つ目のSTEPに入りました！



第4、5回テーマ別検討会議では、 ここをつくっていきます！



STEP4

理想の未来実現に向け具体的な手段を考え期

第4回テーマ別検討会議(1月13日)



理想の物語を実現する手段を
アクションカードにまとめました！

アクションカード

人づくり

Q 小さいときから自分が住む「まち」に触れる機会を持つためには？

A 実現するための取り組み

取組名

地域コミュニティ De 家族遊び

取組の概要(できる限り簡潔に！)

児童ステーション等の地域コミュニティを整備し、家族で
公共施設に遊びに行けるようイベント●を行う。

自然環境

Q 市東部の田畑や里山、雑木林を保全・活用していくには？

A 実現するための取り組み

取組名

竹藪を竹林に整備する

取組の概要(できる限り簡潔に！)

・育った竹の子掘りイベントの開催
・竹林整備マスター制度で
人材育成をする

交流

Q まちの魅力やイベント等の情報を、市内外の色々な人に届けるには？

A 実現するための取り組み

取組名

ITの活用

取組の概要(できる限り簡潔に！)

・イベントをHP
・バーチャルイベント
・ラインが申継
・ポケモンGo
↓
Nagamon Go

都市整備

Q 車がなくても買い物や通院、公共施設へ、困らずに移動できるようになるには？

A 実現するための取り組み

取組名

N-ecoバス

取組の概要(できる限り簡潔に！)

・自動運転
・電気
・呼べばくる

これからの流れ

これからの流れについて

<市民視点>

第4回テーマ別会議 1/13

「未来の物語」実現のための手段を考える

<行政視点>

職員ワーキング 1/18~

「未来の物語」実現のための手段を考える

事務局

2つの視点のアクションを体系的に整理

今日はココ!

第5回テーマ別会議 1/28

整理した内容を、再度確認・検討!

本日いただいた意見を基に、
計画の骨組みまとめていく!

第4回テーマ別検討会議のアクションカード と

行政において今後必要と考える取組

各取組を分類し、整理

取組の方向性を

● 大分類（＝「政策」といいます）

● 中分類（＝「施策」といいます）

に分類しました！

分類例

大分類(政策)①地域共生を進める“人づくり”

中分類(施策)

(1)地域の担い手の育成

取組

取組

取組

中分類(施策)

(2)地域における活動拠点の整備と活用

取組

取組

取組

<アクションカード>

- ・地域コミュニティDe家族遊び

<アクションカード>

- ・市民が高校・大学・ステーションに集まる日

第4回会議で考えたアクションカード

各カテゴリーの取組の方向性を
大分類(政策)と
中分類(施策)に
整理しました！

人づくり

大分類(政策)①地域共生を進める“人づくり”

— 中分類(施策)(1) 地域の担い手の育成

— 中分類(施策)(2) 地域における活動拠点の整備と活用

— 中分類(施策)(3) 地域活動へ参加しやすい環境の整備

大分類(政策)②やってみたいを応援する“人づくり”

— 中分類(施策)(1) 若者の想いを支える仕組みづくり

— 中分類(施策)(2) 女性活躍の推進

— 中分類(施策)(3) 高齢者の役割と居場所の拡充

— 中分類(施策)(4) “やってみたい”を生み出し支える環境の整備

子ども

大分類(政策)①妊娠から出産までのサポート体制の充実

— 中分類(施策)(1) 安心して出産できる環境の整備

— 中分類(施策)(2) 産後ケアの充実

大分類(政策)②子育ての不安や負担をみんなで軽減

— 中分類(施策)(1) 安心して子どもを預けられる場の整備

— 中分類(施策)(2) 子育て情報の整理と提供

— 中分類(施策)(3) 困ったときに頼れるネットワークづくりの推進

大分類(政策)③子どもの感性が育まれる環境の整備

— 中分類(施策)(1) 子どもの主体性が育つ教育の推進

— 中分類(施策)(2) 子どもが学びやすい環境の整備

— 中分類(施策)(3) 自然と共生する心を育む機会の創出

— 中分類(施策)(4) 多様な個性を尊重する体制の構築

自然環境

大分類(政策)①みどりの保全と活用・創出

- 中分類(施策)(1) 自然との触れ合いを通じた地域づくりの推進
- 中分類(施策)(2) 豊かな自然環境の保全
- 中分類(施策)(3) まちの緑化の推進
- 中分類(施策)(4) 水辺でみどりと触れ合える場の創出

大分類(政策)②農あるくらしの推進

- 中分類(施策)(1) 農が持つ多様な役割の活用
- 中分類(施策)(2) 農業振興と農業の6次産業化の推進

大分類(政策)③地球にやさしい持続可能な社会をつくる

- 中分類(施策)(1) くらしの低炭素化の推進
- 中分類(施策)(2) ごみの減量と資源化の推進
- 中分類(施策)(3) 再生可能エネルギーの普及促進

生活

大分類(政策)①地域の課題をみんなで解決する

- 中分類(施策)(1) 助け合い・支え合いの地域づくりの推進
- 中分類(施策)(2) 市民相談の充実

大分類(政策)②元気にいきいきと暮らせる地域づくり

- 中分類(施策)(1) 生きがいを持った暮らしの推進
- 中分類(施策)(2) 介護予防の推進
- 中分類(施策)(3) 運動を通じた健康づくり

大分類(政策)③住み慣れた場所で暮らせる地域づくり

- 中分類(施策)(1) 暮らしを支える生活基盤の支援
- 中分類(施策)(2) 助けが必要な人への支援
- 中分類(施策)(3) 適切な介護保険サービスの提供

大分類(政策)④誰もが安心して暮らせる地域づくり

- 中分類(施策)(1) 交通安全の推進
- 中分類(施策)(2) 地域防犯力の向上
- 中分類(施策)(3) 地域防災力の向上

交流

大分類(政策)①市内外の交流を促し、広げる

- 中分類(施策)(1) 長久手独自の観光交流スタイルの確立
- 中分類(施策)(2) 魅力が広がる情報発信の強化

大分類(政策)②文化・芸術をまちづくりに活かす

- 中分類(施策)(1) 歴史の次世代への継承
- 中分類(施策)(2) 文化・芸術のまちづくりへの活用
- 中分類(施策)(3) 多文化共生の推進

都市整備

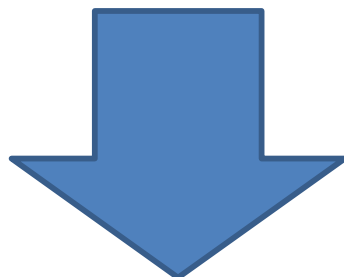
大分類(政策)①移動しやすい環境の整備

- 中分類(施策)(1) 公共交通の利用促進
- 中分類(施策)(2) 安心して歩ける道路の整備

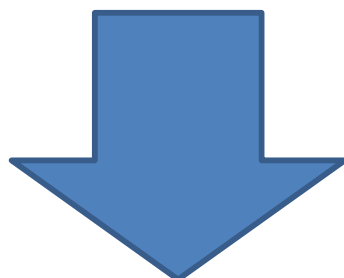
大分類(政策)②くらし心地よい住環境の整備

- 中分類(施策)(1) 快適な住環境の形成
- 中分類(施策)(2) 歩いて楽しい景観の形成

**この分類に対する今日の意見を基に、
計画の骨組みをつくります！**



**次年度以降に具体的なアクションを
検討していきます！**



今日の作業は、とても重要です！

グループ分け

キーワードを参考に、興味のあるカテゴリーを1つ選んでください！

人づくり

次世代育成
女性活躍
生涯活躍
地域コミュニティ
協働
大学連携
図書館

子ども

妊娠・出産支援
育児支援
保育環境
学校教育

自然環境

みどり
里山
農業
自然環境
水辺環境
低炭素社会

生活

地域福祉・高齢者福祉
障がい者福祉・健康
地域医療・市民相談
防犯・防災
交通安全・空き家

交流

観光交流
文化・芸術
歴史
スポーツ

都市整備

道路
公共交通
市街地整備
景観

ワークショップ

自己紹介

□ グループ全員で5分

□ 自己紹介

⇒名前・ニックネーム・所属

好きなお菓子

アイスブレイク

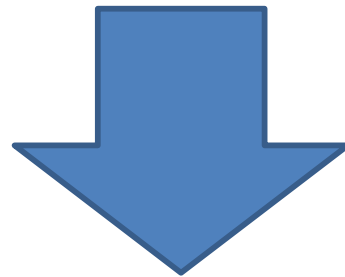
『人生でもっとも大切に
していること』



ワークの前に、、、

カテゴリーごとの取組の方向性の説明

- ① どのような考えで分類したか
- ② それぞれの分類では、どのような具体的な取組が想定されているのか



各カテゴリーで、
若手職員が5分程度で説明します！

個人ワーク

個人ワーク

**「取組の方向性(大分類—中分類)
を検討しよう！」**



取組の方向性(大分類—中分類)を個人で確認し、修正点があれば体系図に書き込もう！



検討する視点

大分類
(=政策)



① **分け方**は適切か

② **表現**の仕方は適切か

中分類
(=施策)



③ **分け方**は適切か

④ **表現**の仕方は適切か

作業手順



体系図をじっくり読んで、修正点を書き込む！

基本目標	大分類(政策)	中分類(施策)
「地域共生」絶対残してほしい！↓	① 地域共生を進める“人づくり”	(1) 地域の担い手の育成 ←長久手に愛着をもった人づくり
		(2) 地域における活動拠点の整備と活用
		(3) 地域活動へ参加しやすい環境の整備
		(4) ●●●●●の充実(追加)
「やってみたい」でつながるまち	② やってみたいを応援する“人づくり”	(1) 若者の想いを支える仕組みづくり
		(2) 女性活躍の推進
		(3) 高齢者の役割と居場所の拡充
		(4) “やってみたい”を生み出し支える環境の整備
		(4) “働く場”の創出

グループワーク

「取組の方向性(大分類—中分類)
を検討しよう！」



個人ワークで修正した体系図を**共有**した上で、グループで議論し、体系図にペンで修正内容を書き込む

作業手順①

まずは、グループ内で個人で出した手段を共有！

基本目標	大分類(政策)	中分類(施策)
「地域共生」絶対残してほしい！↓ 「やってみたい」 でつながるまち	① 地域共生を進める“人づくり”	(1) 地域の担い手の育成 ←長久手に愛着をもった人づくり (2) 地域における活動拠点の整備と活用 (3) 地域活動へ参加しやすい環境の整備 (4) ●●●●●の充実(追加)
	② やってみたいを応援する“人づくり”	(1) 若者の想いを支える仕組みづくり (2) 女性活躍の推進 ←男性の活躍は？ (3) 高齢者の役割と居場所の拡充 (4) “やってみたい”を生み出し支える環境の整備 (4) “働く場”の創出

作業手順②

グループの修正意見をまとめ、
理由(=付箋に書く)とともに、体系図に記載!

基本目標	大分類(政策)	中分類(施策)	「地域共生」に愛着はMUST!
	<p>地域共生は残したい!</p> <p>① 地域共生を進める“人づくり”</p>	<p>(1) 長久手に愛着をもった人づくり</p> <p>(2) 地域における活動拠点の整備と活用</p> <p>(3) 地域活動へ参加しやすい環境</p> <p>(4) ●●●●●の充実(追加)</p>	<p>〇〇な理由でこの方向性が必要!</p>
<p>「やってみたい」でつながるまち</p>	<p>② やってみたいを応援する“人づくり”</p>	<p>(1) 若者の想いを支える仕組みづくり</p> <p>(2) 女性活躍の推進</p> <p>(3) 高齢者の役割と居場所の拡充</p> <p>(4) “やってみたい”を</p> <p>(4) “働く場”の創出</p>	<p>“人づくり”には働く場が不可欠!</p>

作業手順③

カテゴリーで「もっとも大切なこと(施策)」
に★をつけよう！

基本目標	大分類(政策)	中分類(施策)	「地域共生」に愛着はMUST！
	<p>地域共生は残したい！</p> <p>① 地域共生を進める“人づくり”</p>	<p>★1 長久手に愛着をもった人づくり</p> <p>(2) 地域における活動拠点の整備と活用</p> <p>(3) 地域活動へ参加しやすい環境</p> <p>(4) ●●●●●●の充実(追加)</p>	<p>〇〇な理由でこの方向性が必要！</p>
<p>「やってみたい」でつながるまち</p>	<p>② やってみたいを応援する“人づくり”</p>	<p>(1) 若者の想いを支える仕組みづくり</p> <p>(2) 女性活躍の推進</p> <p>(3) 高齢者の役割と居場所の拡充</p> <p>(4) “やってみたい”を</p> <p>(4) “働く場”の創出</p>	<p>“人づくり”には働く場が不可欠！</p>



進め方のポイント

- 「**4つの視点**」を踏まえて、修正していきましょう！
- グループで「**進行役**」と「**記録係**」を決めるとスムーズかも
- 「**3つの約束**」を必ず守ってください
m (_ _) m

よりよい話し合い
のための約束

- ①まず、「傾聴」。
- ②言いたいことは簡潔に。
- ③人の意見を否定しない。